

ニュースクリップ & 映像教材

■「フィルムセンターの在り方に関する検討会」報告書提出

■「上月情報教育研究助成」募集

■IT教育支援協議会第3回フォーラム「高等教育におけるeラーニングの新展開」開催

■平成16年度「宮城県自作視聴覚教材コンクール」作品募集

文部科学省情報

■「フィルムセンターの在り方に関する検討会」報告書提出

我が国における唯一の国立の映画機関であるフィルムセンターに関して、「これからの日本映画の振興について（平成15年4月『映画に関する懇談会』提言）、「知的財産の創造、保護及び活用に関する推進計画（平成15年7月『知的財産戦略本部』決定）」において、一層の機能の充実等が求められていることを踏まえ、その在り方について有識者の意見を聴取するため、「フィルムセンターの在り方に関する検討会」（横川真顕座長：日本大学芸術学部教授）を設置した。

その後、検討を重ね、このほど「報告書」が文化庁に提出された。同報告書は、フィルムセンターの果たすべき役割等について取りまとめられたものであ

り、報告内容の詳細は文化庁ホームページに掲載されている。

http://www.bunka.go.jp/1bungei/pdf/filmcenter_dokuritu.pdf

AV情報

■「上月情報教育研究助成」募集

（財）上月情報教育財団では、実践的な研究で、情報教育との関係や、目的、計画が明確で、2年間の助成期間に成果が期待できるものを対象に、助成対象者を募集する。

〈対象となる研究領域〉

教育関係者の情報活用能力の向上を図るとともに、わが国の情報教育の発展に資することを目的としている。具体的には、各教科における情報教育を目的とした教育実践、「総合的な学習の時間」における情報教育の実践、中学校の「情報とコンピュータ」、高等学校の「情報

の内容に対応した実践など、下記の領域が対象となる。

- ①「情報活用の実践力」の育成を目標にした実践
- ②「情報の科学的な理解」の育成を目標にした実践
- ③「情報社会に参画する態度」の育成を目標にした実践
- ④情報教育に役立つシステムやカリキュラム、コンテンツの開発
- ⑤教員の情報教育指導力向上のためのカリキュラム開発や研修の実践

〈期待される研究内容〉

- ①著作権や肖像権、個人情報保護、情報モラルなどを指導する際のカリキュラムや教育実践
- ②中学校の「情報とコンピュータ」や高等学校の「情報」における一つの単元について、指導計画や指導案、学習指導方法や授業展開、学習環境や教材の開発や考え方、学習に対する評価

トピックス

平成17年度「第9回視聴覚教育総合全国大会」東京で開催決まる

来年度の全国大会も東京で開催されることが、このほど決まった。大会会場に一堂に会して研究交流や意見交換を行うと同時に、インターネットや教育情報衛星通信ネットワーク(el-Net)等を介して、情報交流や研究発表を行い、この大会をもとに全国各地域で新たな研究交流が巻き起こせるよう計画している。そのため当面、主会場を東京とし、可能な情報配信機能を活用して各地域と情報交流を図っていく予定。

なお、来年度(平成17年度)初めに、第二次案内で詳細が示

される予定。

〈大会概要〉

大会主題：

「ネットワークの社会における、視聴覚教育の在り方を明確にしよう」

期日：

平成17年8月27日(土)

会場：

国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

TEL 03-3467-7201

主催：

視聴覚教育総合全国大会連絡協議会(日本学校視聴覚教育連盟/全国高等学校メディア教育研究協議会/全国視聴覚教育連盟/(財)日本視聴覚教育協会)、(財)松下教育研究財団

共催：

第9回視聴覚教育総合全国大

会(東京大会)実行委員会、日本視聴覚教具連合会、大阪府立総合生涯学習センター(予定)

後援：

文部科学省/東京都教育委員会/日本放送協会

他(申請予定)

日程：

10:00~11:00

開会行事・表彰式

11:00~12:00

ネットワークによる研究協議

13:00~16:30

団体別部会・分科会

(自作視聴覚教材コンクール作品発表/優秀映像教材選奨受賞作品上映会等)

16:30~18:00

各団体理事会

18:00~

レセプション

基準や評価方法などについてまとめたもの

③創造力または論理力形成を目的とした情報教育実践…ユニークな発想をとめない、かつ論理的、計算的アルゴリズム構成力の育成をねらいとした授業実践等

〈応募締め切り〉

平成16年12月15日(水)

〈提出書類〉

研究助成申請書・推薦書(無でも可)

〈助成金〉

①大グループの場合：70~150

万円、②小グループ：30~70

万円、③奨励助成：10万円

〈資料請求・問い合わせ先〉

(財)上月情報教育財団

〒107-0061 東京都港区北青山1-2-7

TEL 03-5414-2197

FAX 03-5414-2198

<http://www.kozuki-ite.or.jp>

研究会情報

■IT教育支援協議会第3回フォーラム「高等教育におけるeラーニングの新展開」開催

高等教育におけるeラーニングの現状と将来を広く展望することにより、我が国の高等教育機関が有意義な知見を見出し、eラーニングの導入とそのより効果的な運営に資することを目的に、(独)メディア教育開発センターの主催による標記フォーラムが開催される。

〈開催日時〉

平成16年12月7日(火)

13:00~17:30

〈開催場所〉

(独)メディア教育開発センター
千葉市美浜区若葉2-12

〈内容〉

○基調講演「文部科学省におけるeラーニングの推進について」松澤孝明氏(文部科学省高

等教育局専門教育課企画官)

○報告「高等教育におけるeラーニングのガイドラインについて」伊藤秀子氏(メディア教育開発センター教授)

○パネルディスカッション「高等教育におけるeラーニングの新展開」岡部洋一氏(東京大学情報基盤センター長)、高木直二氏(早稲田大学理事)、橋本順一氏(玉川大学学術研究所講師・情報システムメディアセンター副センター長)、大里有生氏(長岡技術科学大学eラーニング研究実践センター長)、秋山秀典氏(熊本大学大学院先端機構特任教授)

〈詳細・参加申し込み〉

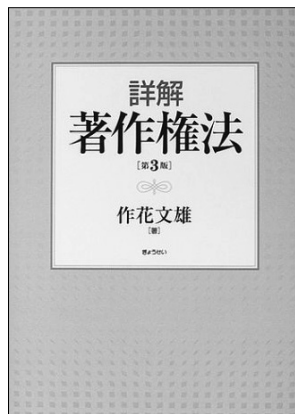
参加無料

<http://www.nime.ac.jp/it2004/>

〈問い合わせ先〉

(独)メディア教育開発センター
〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-12

ブックレビュー



「詳解著作権法 (第3版)」

作花文雄著 ぎょうせい 2004年10月
月刊 A5判 856頁 6,600円

著作権について、さまざまな動きが出ているが、本書は著作権を本格的に学ぶための良書である。特に今回の第3版は、最新の改正に伴う適切な解説をしているので、視聴覚教育関係者ばかりでなく、広く教育関係者にも参考となるものとなっている。

なかでも、第35条は学校その他の教育機関における複製等に関する条項であり、教育関係者は常にチェックしておくべきものといえる。その部分でも、複製行為者に児童生徒が加わり、教育を担任する者しかできなかった複製行為が広がったことや、遠隔授業のための公衆送信について明解に言及している点は、これからの取り組みを考えている教育関係者には貴重な羅針盤になると思われる。ジャズ喫茶などから、過去に遡って著作権

料を徴収することが新聞などで紹介をされ、また、ダンス教室における著作権料未納の問題も最高裁で上告棄却になった。さらに、今年の3月には権利団体がホームページで35条のガイドラインを示した。これについては、利用者側の理解が得られない部分もあることがガイドラインにも明記はされているが、それに代わるものは今のところ示されていない。そのガイドラインを意識しているかのような記述も本書には見られる。ガイドラインでは複製の部数を50部を目安にすることが示されている。それに対し「300人とか50人とか、いろいろな考え方があり、教育現場では困惑するしかないであろう」と記述し、それに関する筆者の明解な考えが示されている。続きは本書で。(坂井知志)

TEL 043-298-3123

FAX 043-298-3478

各地の情報

■平成16年度「宮城県自作視聴覚教材コンクール」作品募集

宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県視聴覚教育連絡協議会では、視聴覚教材の自作を通じた個人・グループの自主的学習活動の成果を発表する機会を設け、視聴覚センター・ライブラリー機能の拡充と視聴覚教育の振興を図ることを趣旨とし、作品を募集する。

入賞作品は、(財)日本視聴覚教育協会が開催する平成17年度全国自作視聴覚教材コンクールへ推薦される。

〈コンクール開催日時〉

平成17年2月19日(土)

9:45~

〈開催場所〉

宮城県図書館

仙台市泉区紫山1-1-1

TEL 022-377-8441

〈出品部門〉

①学校教育録画部門、②学校教育スライド・TP部門、③社会教育スライド・TP部門、④社会教育録画部門、⑤コンピュータ学習ソフト部門

〈出展条件〉

①学校教育及び社会教育の学習教材として制作したもの、②BGM、効果音、写真複製等については、著作権をクリアしたものを使用すること、③他のコンクール等に未発表のもの、④コンピュータ学習ソフト部門は、教材化をメインにしたもの等

〈発表時間〉

1作品20分以内。ただし、コンピュータ学習ソフト部門のプレゼンテーションは10分以内。

〈表彰〉

各部門ごとに、最優秀賞1点、優秀賞2点

〈応募先、応募期限〉

各地区視聴覚(教材)センター、各地区視聴覚教育協議会(*各地区ごとに地区審査や地区自作教材コンクールがあり、提出締切日が各々異なるので、各応募先に確認のこと)

短 信

■イメージニクス(株)は10月28日付にて事務所を移転した。

〈新住所〉

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-16-7 ハイウェービル6F

TEL 03-3464-1401

FAX 03-3477-2216

■全日本学校教材教具協同組合は11月12日付にて事務所を移転した。

〈新住所〉

〒141-8502 東京都品川区西五反田4-28-5 学研第3ビル別館

4F

TEL&FAX 03-3493-3111